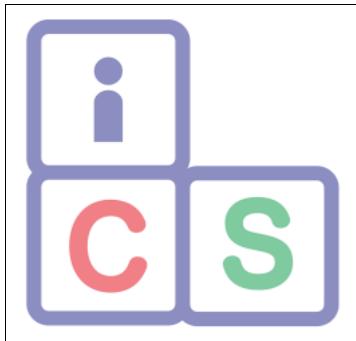


家庭数



令和7年12月23日

コミュニティ・スクール便り

板橋区立向原小学校 コミュニティ・スクール委員長 永岡 大輔
校 長 飯田 秀男

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。11月27日（木）に、第3回コミュニティ・スクール委員会を行いました。はじめに展覧会をご鑑賞いただき、感想をお話ししてくださいとともに、「向原小学校の課題について」話し合いました。

1 校長挨拶

- ・インフルエンザが猛威を振るっている。学校では、児童のお休みだけでなく、教員も3名インフルエンザにかかり、お休みした。幸い、薬がすぐに効いてくれるようなので安心している。子供たちは全体的に落ち着いているが、一人ひとりを大事にしていきたい。
- ・Chromebook の使い方について、区内でも問題になっているが、ひどい壊され方をしたものがあった。夜まで Chromebook をやめない子の保護者が怒って壊したと聞いた。夜の Chromebook の使い方は制限がかかるように区に働きかけているので、午後10時～午前5時までは使えなくなる方向で話している。
- ・昨年行った学芸会だが、時間に見合った形にしていく相談をさせていただきたいと思っている。
- ・新入生を制限する動きがあったが、むかし館を含めれば18学級入れることができる、入学者の間口を広げる形で考えている。6～7年後に向けて、18学級が入る学校にしていきたい。

2 iCS 委員長挨拶

先日のいちょうまつりはありがとうございました。会計報告が出る予定です。今日は学校評価のアンケートについても話し合うので、よろしくお願いしたい。

3 展覧会鑑賞

児童鑑賞日ではあったが、3年生と一緒に作品を鑑賞し、6年生のプロジェクトマッピングも体育館を暗くして鑑賞していただきました。



4 熟議「展覧会の感想と向原小学校の課題について」

○各委員より

- ・技術が高い。自分が子供の頃はあのレベルは出せなかつたと思う。いい人材が育っていると感じた。素晴らしい作品だった。
- ・図工の先生は大変だったと思う。親の協力も得ながらやらないとできない。展覧会のように、作品を見てもらう場があることも大事だと思う。見た人は褒めるようにしてほしい。
- ・これが小学生かと思うような作品だった。見ている子供たちもやっぱりそれが分かっていたようで、友達と共有していた。自分の子供が在学中も楽器の作品を作っていたが、これからもぜひ楽器作りは続けてほしい。
- ・自分たちが子供の時は、THE版画という感じの作品だったが、今はいろいろな作品が増えて面白かった。空間作品のようになっていてすごかつた。中学生の作品も飾られていて、3年生の子供たちも感銘を受けていた。
- ・自分たちの子供の頃と比べて多様性があり、クリエイティブな作品が多くつた。似たような作品ではなく、独創性があつてとてもいいと感じた。そういう力を伸ばしてもらえてよかつた。
- ・図工の時間にプログラミングができるのはとてもいい。後々役立つことを体験させてもらっているのもよかつた。
- ・独創性豊かな子が多い。色も選ぶだけでなく、また、見本をまねるだけでもなく、ちゃんと自分で考えて作品作りをしている。いろいろな世界を動画等で手軽に見られるのも力を伸ばすことにつながると思う。
- ・校長先生の話にもあつたが、あいキッズでもChromebookの問題が起きている。あいキッズに来ても外遊びもせずChromebookばかりやっている。
- ・コーチャハイムで子供が巻き込まれる事件があつたが、そのことについて全校で共有できるようにしていきたい。
- ・次の大きな行事はおもちつきなので、ご協力をお願いしたい。



5 令和7年度向原小学校の教育活動に関するアンケート実施について

○質問項目の確認とともに、i C Sの皆さんにもアンケートにご記入いただいた。

6 にっこり支援本部活動計画（二学期前半の活動報告と二学期後半の活動予定を紹介）

※ 次回は1月28日（水）9：00～を予定しています。

※傍聴をご希望の方は1週間前までに、副校长までご連絡ください。